

# “秋の親睦一日旅行” に初参加させて頂いて (11月17日)

幼かった孫の記念にと桜の植樹を申し込んだのは何時の事だったでしょう。

その時の二人、今は私たち祖父母が見上げるように大きくなりました。そして二本の桜の木も立派に育ち毎年美しい花を咲かせ楽しませてくれています。ハプニングもありました。数年前 新聞を賑わせた

桜の枝泥棒のこと、台風で根こそぎ倒れたこと。その都度適格な判断、行動の返答をすぐに下さいました。それ以来、下関深坂さくら友の会”の方々の素晴らしい活動を知りました。

今回不思議なご縁で初参加させて頂きました。当日、ほとんどの方とは初対面でしたが関門橋を渡る頃には和気あいあ



いとした車中の雰囲気ですっかりうちとけ楽しいスタートとなりました。

初冬の野山の紅・黄葉を、そして水墨画の様な景色を車窓より楽しみつつ青の洞門 山国川を左に見て羅漢寺へ。麓よりリフトにしがみ付きながらも見た左右の楓の紅葉は見事でした。時の流れを思わせる丸くなった急な石段を上り岩肌にくっついて建つ山門を見上げた時、



古の人々の信仰の篤さに感動させられました。由緒ある古刹、そして洞窟の内にいらつしやる羅



漢様のなかに親しい人に似たお顔の仏様がおいでになるとのこと。

心を残しつつサッポロビール九州工場へ。思い思いに美味しいビールを飲み、昼食、工場見学、試飲、各自幸せな気持ちで院内の石橋群見学へ。途中、案山子さん達のお出迎え、そして思いがけない見事な



“慈恩の滝”との出会い。滝の裏を歩き水しぶきを受けて全員水も滴るいい



男・女になったところで滝を背に集合写真を撮りました。

それから又ひた走り、山間の谷に静かに佇む苔むした石橋を、河原より見上げた時 現在に通じる日本人の技術力の素晴らしさ、底力の強さを感じました。

大渋滞の高速道路を満月に見守られながら、やつと関門橋を渡り下関着。

会員の方々の地道な奉仕の精神で深坂の森を守り 進化させていらつしやる事が、さり気無い会話の中から感じる事ができ私にとって有意義な楽しい一日旅行となりました。道中見事に黄葉した銀杏の太木を随所に見たせいでしようか“今でしょ!”と買った重たい銀杏の組板と共に。  
(山本 芳枝 記)

## 夫婦で桜の世話

1月23日、深坂の森にネームプレートの写真撮りに出かけた。すると、深坂バイパスの内日側付近で、ご夫婦で桜の世話をしてお



きになって掘出すことはなからうが。「その石は動きそうにない。梃子にしている、つるはしの柄の方が折れますよ。」などと何度も言っているのに、聞かばこそ、ついに、ご主人が、つるはしでこねると動いた。こうなると、にわかに現実化して、ご主人から「あんたも手貸して。」と言われて、大石を3人がかりで、ひっくり返し取り出した。「石はそのままベンチ代わりにすれば花見に丁度いい。」と笑った。

大きな穴には、牛糞やら、バークやら、3種類くらい、肥料や土壌改良材をどっさり投入して埋め戻された。ここに苗木を植えたら、今のを追いつくと思う程だ。

ネームプレート  
ネームプレートの中には、左のようなものもある。桜の木と共に、この思いも大切に守ってあげたいものだ。

